

科目名	あそび実践演習（こどもと造形）		担当教員	深谷ベルタ		
			担当形態	演習		
テキスト	必要に応じて配布することもあるが、基本的に履修者自身の記録がテキストとなる	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	後期
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生の造形遊びを保育現場で観察し、詳細記録を作成すること。</li> <li>・観察記録に基づいて検討し、気付いたこと、気付かされたことをレポートにまとめること。</li> <li>・学べたことをまとめ発表すること。</li> </ul> <p><b>■授業の概要</b></p> <p>日本における保育の方法（幼児教育も含めて）が今大きく、そしてゆっくりと変わろうとしています。子どもたちが何をどのようにして制作（プロダクト中心）できるのかではなく、卒園するまで子どもたちの中にどのような感性を育み、子どもたちをどのようにして深い体験に出合わせられるのか（体験プロセスの量と質）が主要な問題となります。その中で保育者として子どもたちの表現力をどのようにして高められるかは問題ですが、それ以前に子どもたちの体験をどのようにして理解し、どのようにしてサポートできるのかという問題のほうがより重要です。皆さんが既に1年次に「あそび基礎演習」で自らの表現体験を通して表現と遊びとの関連性についても学びました。しかし、わずかな保育実習を除けば、子どもたちの表現、とりわけ造形体験について学ぶ機会が殆どなく、そのライブの現場をじっくり観察する体験もありません。子どもたちと何かを制作する（プロダクトをデザインすること）はできても、子どもの体験をデザインする専門家になることは難しいのです。そこで本授業をもってそのような学びの機会を提供したい。明德附属幼稚園（こども園）にて本年度から造形遊びを主とする「あそぼうカー」（本学独自）のプロジェクトが通年で実行される予定です。そして、本年度から履修生も（10名まで）この企画に観察者として参加可能となりました。子どもたちをはじめ、保育者、担当教員、そして学生が初めて同じ場を共有します。観たことを記録し、その記録を振り返ることで初めて理解を深めることが可能となります。ここでは指導案を作成する必要がありません。子どもたちとかわりながら観る（参与観察をする）必要もありません。エピソードを切り取りそれに基づいてレポートを書く必要もありません。プログラム内容を企画及び準備する必要もありません。必要なこと（本授業の到達目標）は主に3つだけです。すぐれた観察者になること、子どもたちの動きを、心の動きも含めてグループの中で捕らえられるようになること、そしてそれに基づいて理解を深める方法を学びながら他の学生と共有し、全員の学びをサポートすることです。</p> <p><b>■授業計画</b></p> <p>第1回 子どもたちの活動を観察し、記録する①          第2回 記録を振り返る          第3回 観察及び記録作成②          第4回 振り返り          第5回 観察及び記録作成③          第6回 振り返り          第7回 観察及び記録作成④          第8回 振り返り          第9回 観察及び記録作成⑤          第10回 振り返り          第11回 各自で記録の中間まとめ（5項目からなるポートフォリオを作成）          第12回 発表①（レポートに基づいて）          第13回 発表②（レポートに基づいて）          第14回 発表③（レポートに基づいて）          第15回 全体的まとめ</p> <p><b>■準備学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーコンセプトとなる遊びの3大条件（安心、没頭、自己超越性）を再検討すること</li> <li>・キーコンセプトとなる人間の「感性」の基本的属性&amp;特性を再検討すること</li> <li>・作品制作（プロダクト）を企画&amp;指導することと、体験を共にクリエートすることの違いを再検討すること</li> </ul> <p><b>■評価方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察記録の内容 — 50%</li> <li>・レポートの内容 — 25%</li> <li>・発表の内容 — 25%</li> </ul>						
参考文献	特になし	特記事項	<準備するもの> クリアポケットフォルダー（40ポケット型・A4サイズ）を各自で用意			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択	幼	教科に関する科目			
		保	保育の表現技術			